

茨城県八千代町立下結城小学校（学校長 安江 宜通）

実施日	平成19年11月28日（木）	時間	午前10時40分～午後12時20分
実施場所	体育館	対象/人数	1～3年生 127名, 4～6年生 122名
担当教諭	岩松 加奈	ファシリテーター	小葉 和子
講師	オレリアン・バロン（フランス・県国際交流員） ジョナサン・マイケルズ（アメリカ・県国際交流員） リム・フェキ（チュニジア・留学生） 中野由香利ダニエーラ（ブラジル・留学生）		

活動内容

第1部開会行事 10:15～11:00

第2部5年生との交流 11:10～12:15

第3部閉会行事 13:15～13:30

児童の感想

・私は、アメリカの先生にアメリカのじゃんけんを教わりました。ぐーは「ブロック」で、ちょきは「スイーザー」で、ぱーは「ペーパー」だよ。と教えてくれました。次に、チュニジアのコースへ行きました。チャリチャリと音の出る布のようなものを腰に巻きつけて、先生と一緒に踊りました。

・私は、チュニジアの人と一緒にダンスをしました。最初はできなかつたけれど、だんだんできてきて、チュニジアの人に、「とてもじょうず。」と言われてうれしかったです。また、一緒にダンスをしたいです。

・チュニジアの先生の持っていた人形は、一番きれいでした。日本では、りかちゃん人形が人気です。でも私は、りかちゃん人形もかわいいけど、チュニジアの先生のもっている人形が一番きれいでした。だから、いっぱいその人形を見ました。

・アメリカの人は、にせギターをもって、おもしろい歌を歌ってくれました。チュニジアの人は、ダンスを教えてくれました。フランスの人は、フランスの国についてくわしく教えてくれました。ブラジルの人は、みんなで円を作って、ちょっとした踊りを教えてくれたり、写真を見せてくれたりしました。いろいろな国のことを教えてもらって楽しかったです。また、ワールドキャラバンですてきな思い出を作りたいです。

・私はチュニジアのことをくわしく知りました。チュニジアには、「クスクス」という食べ物があるそうです。私も食べてみたいと思いました。あと、チュニジアの踊りも教えてもらいました。シャラシャラとなるスカートみたいなものを腰に巻いて踊りました。とても楽しかったです。また会いたいです。

先生の感想

・学校としては、初めての取り組みということで、スムーズにいかなかった面が多々ありましたが、コーディネーターの方々にリードしていただき、充実した国際理解教育が図れたと思えました。子どもたちは、外国の方々と直接触れあうことができ、外国の言葉や習慣の違いなどを知ることができ、貴重な体験ができました。子どもたちから、「楽しかった。」「うれしかった。」などの感想があり、満足できたのではないかと思います。

成果と課題

・子どもたちにワールドキャラバンの話を事前にしたところ、それぞれの国について意欲を持って調べ学習に取り組んでいた。外国の方と直接触れあうことで、その国についての知識が深まった。講師の先生と一緒に給食を食べたクラスは、より交流が深まった。

・低学年はクラスごとに2箇所をまわったので、行きたいところへ行けなかつた児童がいた。高学年のように自分の行きたいところへ行って交流しても良かった。講師の方に教室に来てもらって、交流する方法も考えられる。

